

令和7年度 第1回 中能登町立鹿島小学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和7年5月12日（月）15：00～16：00
【会 場】	中能登町立鹿島小学校 校長室
【出 席 者】	飯田 一則、池島 正芳、鍛冶 善正、山田 哲也（50音順） 学校代表者：高木 宣維 教頭
【欠 席 者】	大湯 章吉、福井 清久、清水 ひとみ 学校長 学校教育課）横山主事 生涯学習課）平岡
【事 務 局】	学校教育課：山森担当課長 生涯学習課：寺西主査、中瀬主査、山口
【次回予定】	未定

【進行】学校教育課：山森担当課長、鹿島小学校：高木教頭

1. 会長、副会長の承認

※委員互選により、会長：飯田 一則さん、副会長：鍛冶 善正さんに決定。

2. 令和7年度学校経営方針について ～高木教頭より、資料を基に説明～

【質疑応答】

●鹿島小学校の不登校者について、どれくらいいるのか？

⇒不登校傾向ということも含めてカウントすると、11名。休みがち、遅刻が多い。

⇒学校として何か働きかけはあるのか？

⇒見守ることも含め、それぞれに応じた対応をしている。

●不審者対策について、近年起きている事件が異常だが、何か対策はしているのか？

⇒校舎内に簡単に入れないようにしている。児童には、怖いと思ったことについて、小さいことでも挙げてもらうようにしている。職員室からの死角があり、気づけない場所もあるので、年に1度、そういった状況に対応するための不審者対応訓練を実施している。

※学校経営計画について承認。

3. 協議

①児童の体力向上に向けた運動・スポーツ活動の推進 ～高木教頭より、資料を基に説明～

【意見等】

●今年度は、学校と地域の繋がりをより強めていきたい。運動面での大きな目標があるが、それに限らず、学校の現状を学校運営協議会の委員の皆さんに見ていただき、ご意見・ご提案があれば、どんどん挙げていただきたい。

●今年度開校10年を迎える。PTA研修部とタイアップして計画を練っているが、皆さんにもご参加いただければと思っている。

●マラソン大会に向けて、長休み時間を活用した練習を開始したので、一緒に走ってくれたり、声掛けしてくださる方がいらっしゃれば、子どもたちの刺激にもなる。

●今年度もPTCA活動を活用し、学年に合ったニュースポーツ体験を実施してはどうか？

⇒昨年度は2学年が実施。今年度は2年生（ドッチビー）、3年生（モルック）、4年生（中ボール）で実施予定。

⇒体育の時間にニュースポーツを体験する機会を設けても良い。

⇒地域とのつながりができ、交流の機会も増える。子どもたちも地域の方の顔を知ることができる。あまり無理をせず、地域の方に入ってもらえるようにできれば、少しずつ変わっていくのではないかな。昨年度の目標であった食育面でも同じことが言える。

- マラソン大会について、伴走者・応援者を募るということだが、周知をどう進めるのか？
 ⇒学校から案内を配布する等、方法を検討していくが、委員さんも発信していただきたい。
 ⇒委員のみだったら、声掛けする範囲が狭くなるかもしれないが、何時から何時までというスケジュール的なものがあれば共有しやすい。
 ⇒案内の配布や声掛けについて、大きな行事に関しては、生涯学習課から班回覧で資料を配布しているが、水泳見守りや授業サポートについては、不審者などの問題もあり、不特定多数というわけにはいかないなので、関係者が顔を知っていて、人となりが分かる方にお声がけしている。

②その他

【意見等】

- 地域学校協働活動サポート人材バンクの募集に関して、学校HPなどにも掲載していただき、いろいろなものを活用しながら、周知を進めていく。
 ⇒高齢者の方にとっては、インターネットからの登録は難しい。用紙に記入して提出というやり方の方が良いのではないかと感じる。
- ふるさと学習として、不動滝を護る会と連携して清掃活動を実施したり、石動山ゆりを育てる活動をしている。鹿島地区の伝統を子どもたちに学んでほしいということも、声を挙げていただきたい。
 ⇒鹿島地区は大宮坊を護り続けていた歴史はとても重い。久江の道閑さんに関する歴史についても継承してほしい。
- リリー（ゆり）プロジェクトとして、ふるさと学習の柱にしても良いのではないか。
- 学校として悩んでいることは、見守り隊のことで、どんな状態なのか把握できていない。見れる人が見れるときにという状態だという認識だが、どこの学校でも見守り隊の高齢化が進んでいる。今年度すぐに形にできとは思っていないが、何かしら整備を進めていきたい。
 ⇒見守り隊がだんだん減ってきており、追従していく人がいない。大きい在所は人数が多いので、見守り隊が見つけやすいが、小さい在所ではなかなか難しい。
 ⇒昔、地区の総会で声掛けをした経験がある。いろいろな所で発信していくことも必要。
 ⇒全範囲を網羅するという事は難しいので、まずは特に危険な箇所を洗い出し、区長会の総会で発信するなど、できるところから周知していく。
 ⇒去年の夏に通学路の安全点検で、バス停の乗り降りするところで危険な場面があるという報告があったが、バス停から10m以内の場所は横断歩道をつけられないということだった。見守り隊の方がいてくれるだけでもありがたい。
 ⇒二宮地区の融雪装置がある道路について、歩道はあるが、冬は雪で道を塞がれる。車道にはみ出して歩いている子どももいるので危険。
 ⇒学校からも危険箇所を把握した上で、保護者の皆さんや地域の方にもお示ししたい。
 ⇒鹿西小見守り隊で通学路に立っている人から、「子どもたちからのあいさつが返ってこないのて悲しい。」という意見もあがっている。家庭での不審者対策のルールなどもあるかもしれないが、あいさつしてもらえたら、見守り隊の方もやりがいや生きがいを感じられるのではないか。
 ⇒地域の方と顔見知りになれば、子どもたちも安心して接することができる。

5. 閉会

《飯田会長あいさつ》

本日は、お疲れ様でした。今年度は体力向上という部分に視点を置きながら、協議会として進めていくが、高木教頭からもあったように、気づいたときに学校に意見を出してもらえれば、次の機会に協議し、取り組んでいける。今後ともよろしくお願い致します。